

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第55回 ビジネス文書実務検定試験 (27. 11. 22)

# 第2級

## 速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### 〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

### 〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

## 第55回 ビジネス文書実務検定試験 (27. 11. 22)

## 第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

国土交通省は、注目されていなかったエネルギーの活用に取り組んでいる。その一つが、下水熱である。下水の温度は、年間を通して外気温よりも安定している。冬は熱を吸収して暖房に利用し、夏には下水に放熱して冷房に活用する。従来に比べると、電力コストは30%ほどカットできるという。	30 60 90 120 137
下水道管は老朽化のため、交換が必要だがコストがかかる。そこで、これまでの古い下水道管の中に、管路を取り付ける工法が開発された。この工法で、専用のチューブを組み込むことによって、熱の吸収や放出ができるようになった。	167 197 227 245
これまでは、民間の事業者が関わるのが規制されており、普及することは難しかった。しかし、自治体の財政負担を減らすために導入を望む声が強くなり、法律（PFI法）が改正された。今後は官民が連携して、有効な利用が進むであろう。	275 305 335 357
自治体や企業の支援をするために、国土交通省はアドバイザーの派遣を始めた。また、全国でワークショップも行っている。これらの活動で使用後の水を熱資源として、再利用できるシステムが早く普及することを期待したい。	387 417 447 460